

電力広域的運営推進機関PRツールの制作  
入札仕様書

電力広域的運営推進機関

2022年5月26日

## 1. 件名

電力広域的運営推進機関 PRツールの制作

## 2. 目的

既存の紹介ツール(パンフレット、動画)は、電力システム改革第3段階(2020年4月)以前の2018年の情報が主体となって制作されている。電力システム改革により電力業界が大きく変わったことや電力広域的運営推進機関(以下 広域機関)の業務内容が拡大したことによる役割の重要性を改めて分かりやすく伝えることを目的に広域機関ウェブサイトへの誘導をするなど紹介内容の拡充・更新する。

## 3. 業務内容

### (1)パンフレットの制作

広域機関への来訪者や採用者などを対象に、広域機関の業務概要を紹介するパンフレット(①)を制作する。2022年10月より使用予定。

①紹介パンフレット 日本語版(4色 A4 版中綴じ表紙観音折り 14頁/オーロラコート/表周り四六 160kg・中面 135kg/4C)

注)業務進行中に構成上の都合で作成頁が増加する場合は別途広域機関と協議の上、決定するものとする。

### <訴求内容>

- ・広域機関の役割、理事長挨拶、組織、所在地など、広域機関の最低限の内容およびQRコード等による広域機関のウェブサイトへの誘導
- ・広域機関の業務紹介

### <主な作成内容>

- ・既存パンフレットの文章や図、訴求内容の修正
- ・新業務の紹介について、新規頁の追加作成
- ・既存パンフレットの写真入れ替えおよび撮影

### <ページ構成>

ページ	内容
表1	全表紙
2, 3	概要 ・理事長挨拶 ・広域機関の役割 ・広域機関の取り組み(容量市場、需給調整市場(調整力の説明含む))と課題

4～7	詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期方針</li> <li>・広域系統整備計画</li> <li>・供給計画</li> <li>・連系線利用（間接オークション）</li> <li>・系統アクセス（運用容量・空容量の考え方、日本版コネクト&amp;マネージ含む）</li> </ul>
8, 9		需給監視、ひっ迫時の対応、計画受付（年間～前日）、出力抑制
10, 11		FIT、FIP、廃棄等費用積立、入札、国際、グリッドコード（新規項）
12		紛争解決、スイッチング支援システム、防災
13		組織体制（既存版と同様の内容）
表14		裏表紙

## (2) 動画の制作

広域機関のウェブアクセス者や広域運用センターの見学者などを対象に、広域機関の業務概要を紹介する動画(②)を制作する。2022年10月から使用予定。

### ②紹介動画 日本語版(合計15分以内)

- ・広域機関のウェブサイトに掲載することを考慮し各セクションで1～2分程度の動画を作成する。
- ・各セクションの動画の合計時間が15分以内になるように作成する。
- ・理事長インタビューについては撮影することを必須とする。

#### <訴求内容>

・広域機関の全体概要を紹介する。広域運用センター見学対応にも使用するため広域運用センターの位置づけが分かるよう配慮する。

#### <作成内容>

- ・既存動画を各セクションに分割するとともにナレーションなどを修正
- ・「広域機関の取り組み」および「新業務」のセクションは新規(インフォグラフィックスを主体)に作成
- ・「理事長インタビュー」については撮影を含め新規に作成

#### <広域機関の業務紹介>

セクション	内容	
1	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力システム改革</li> <li>広域機関の発足</li> </ul>
2	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域機関の取り組み(新規)</li> <li>・主な役割</li> <li>・新たな課題</li> </ul>

3	詳細説明	需給監視や系統の運用状況の監視 ・全国の需給監視 ・広域システムを活用した需給バランス状況の把握 ・需給ひっ迫や各種の防災訓練
4		短期～中長期的な安定供給の確保 ・供給計画 ・広域連系系統の長期方針や整備計画 ・容量市場 ・需給調整市場
5		送配電設備の公平・構成かつ効率的利用の推進 ・間接オークション ・コネクト&マネージ
6		(仮)再生可能エネルギーの電源主力化に向けた取り組み(新規) ・FIT、FIP、太陽光発電の廃棄等費用積立、入札、国際、グリッドコード
7		理事長インタビュー(新規)

### (3)制作にあたっての留意点

- ・新規ページや新規セクションを作成するにあたり、広域機関の存在を知らない方でも、読む・見ることで、その役割を理解できるものとする。(既存のページや動画に合わせる)
- ・広域機関が果たす役割がわかるよう、その権限・スケール感を嫌みなく見せる。(中立性、公平性な業務運営であることを強調する。)
- ・パンフレット・動画ともに、無機質でなく、ストーリー性を持たせる。(既存のページや動画に合わせる)
- ・パンフレットは見出しやコピーにこだわり、図表・イラスト・写真を多用することで、読む気を喚起する。(既存のページや動画に合わせる)
- ・パンフレットはQRコード等を活用し広域機関のウェブサイトへ誘導出来るようにする。
- ・動画は、PPTのようにグラフやイラストを羅列して示すだけでなく、アニメーションを使用する等、映像ならではの力を活かし、分かりやすく伝える。
- ・動画は視聴者のスケジュールや用途に応じて視聴出来るよう、セクション毎に映像を分割する。
- ・動画は広域機関ウェブサイトで使用できるよう作成する。
- ・撮影箇所は電力広域的運営推進機関(豊洲)および第二事務所の2箇所とする。

#### 4. 納品について

各制作物について、下表のとおり、総務部広報グループに納品する。

制作物		納品物		納品期日
紹介パンフレット	①日本語版	500部	印刷用データおよび トンボなしのAI、PDF、 JPGを収めたCDR各2枚 およびデータ納品	2022年9月30日
紹介動画	②日本語版	DVD10枚、WMV3枚およびデータ納品		2022年9月30日

#### 5. 提出物

##### (1) 提案書

- ・コンセプトが分かるもの
- ・実施体制および制作スケジュールについて可能な限り詳細に示すもの
- ・動画については、構成・デザイン・シナリオなどイメージが分かるもの

< 提案書作成にあたっての留意点 >

- ・想定する取材回数を提示する。
- ・パンフレットについては校正および紙質、動画については仮編集の回数・時間および本編集の時間を明記する。
- ・提案は、2案までとする。

##### (2) 見積書

見積条件については、「入札説明書」を参照のこと。

#### 6. その他

- ・制作した動画の用途は、見学・講演対応に限らない。
- ・成果物に関する著作権はすべて当機関に帰属し、カット画像、グラフ、タイトル、コピー等は広域機関の他ツールに二次利用可とする。
- ・既存パンフレットのカット画像、グラフ等は使用可とする。

以上